

財産の取得
（鳥獣害防止施設）

取得物件	鳥獣害防止施設
数量	電気柵延長14,470m分
取得目的	農作物の有害鳥獣被害防止のため
所得価格	2591万9975円
取得の相手	宮城県名取市増田字北谷267番地 第一ビニール 株式会社 東北支店

問 吉田修議員
設置場所は、土地所有者や耕作者の金銭的な負担はあるのか。

答 農林建設課長
設置は干蒲地区に1カ所、湯原地区に6カ所、峠田地区に3カ所、横川地区に1カ所。集積している農地と被害の多い農地を対象に団地を囲むような形で設置する。受益者の負担は求めない。

問 菅原研治議員
※バッファゾーン整備をこの事業と並行してできないか。

答 町長
町だけでは困難な部分があるため、地域と十分協議をしながら手をつけられる部分は何か所かしていきたい。

問 菅原研治議員
設置後、業者との間で設備のメンテナンスに責任を持っていたかどうかの内容の取り決めはあるのか。

答 農林建設課長
設置延長が長いので、メンテナンスは業者にしてもらおう。これから協議したり指導を仰いだりしていきたい。



【写真：湯原地区電柵張り作業風景】
 ・県の土木事務所や大学生、ボランティアの皆さんからなる「いのししバスターズ」が作業の手伝いをしてくださいました。
【※バッファゾーンとは】
 ・中立地帯、緩衝地帯のこと。
 ・有害鳥獣と人里の中立地帯を作り、相互の衝突や被害を和らげる狙いがある。

財産の取得
（消防ポンプ自動車）

取得物件	消防ポンプ自動車
数量	1台
取得目的	消防力の強化
所得価格	2116万8000円
取得の相手	宮城県仙台市若林区卸町二丁目8番地の6 トーハツ県南サービス 株式会社

問 吉野一夫議員
消防団員の中にオートマチック限定免許所持者は何人ほどいるのか。

答 総務課長
今回購入するものは役場の自動車部が活用するが、12名の団員中5名がオートマチック限定のため、今回購入する消防ポンプ自動車もオートマチック車である。

問 梅津政志議員
仕様はどのようなものか。

答 総務課長
オートマチックの4WDで山火事用の小型ポンプを積載している。更新前のポンプ車が平成8年製のものなので、21年経過した現在様々な先進的技術が入っている。



▲消防ポンプ自動車（イメージ）

【七ヶ宿町自動車部】
 ・七ヶ宿町役場職員で構成される常備消防団。
 ・現在は12名の団員がおり、平成28年7月に開催された第49回宮城県消防操法大会においてはポンプ車操法の部で県内3位の成績を残している。